

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
クラシエ株式会社 京都工務新築工事 クラシエC-1

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質			0.31		3.0
Q1 室内環境					3.3
1 音環境		3.4	0.15		3.4
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40		
1.2 遮音		3.0	0.40		
1 開口部遮音性能		3.0	0.60		
2 界壁遮音性能		3.0	0.40		
3 界床遮音性能(軽衝撃源)					
4 界床遮音性能(重衝撃源)					
1.3 吸音	壁:グラスウール、床:タイルカーペット、天井:岩綿吸音板	5.0	0.20		
2 温熱環境		3.0	0.35		3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50		
1 室温		3.0	0.38		
2 外皮性能		3.0	0.25		
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		
2.2 湿度制御		3.0	0.20		
2.3 空調方式		3.0	0.30		
3 光・視環境		3.3	0.25		3.3
3.1 昼光利用		3.6	0.30		
1 昼光率	2.0%以上2.5%未満	4.0	0.60		
2 方位別開口					
3 昼光利用設備		3.0	0.40		
3.2 グレア対策		3.0	0.30		
1 昼光制御		3.0	1.00		
3.3 照度	500lx以上1000lx未満	4.0	0.15		
3.4 照明制御		3.0	0.25		
4 空気質環境		3.7	0.25		3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50		
1 化学汚染物質	建築材料の全面にF☆☆☆☆を採用	4.0	1.00		
4.2 換気		3.0	0.30		
1 換気量		3.0	0.33		
2 自然換気性能		3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33		
4.3 運用管理		4.0	0.20		
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50		
2 喫煙の制御	喫煙室は区画され、常に負圧に保たれている	5.0	0.50		
Q2 サービス性能			0.30		3.5
1 機能性		3.6	0.40		3.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		
1 広さ・収納性		3.0	0.50		
2 高度情報通信設備対応					
3 バリアフリー計画		3.0	0.50		
1.2 心理性・快適性		3.6	0.30		
1 広さ感・景観	天井高2.9m以上、窓を設置	5.0	0.33		
2 リフレッシュスペース	1%以上のリフレッシュスペース、自販機を設置	5.0	0.33		
3 内装計画		1.0	0.33		
1.3 維持管理		4.5	0.30		
1 維持管理に配慮した設計	内装に維持管理のしやすい建材を採用	5.0	0.50		
2 維持管理用機能の確保	掃除用流しやコンセントの設置など、清掃環境を整備	4.0	0.50		
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30		3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.9	0.30		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		
2 外装仕上げ材の補修必要間隔	金属板:40年	5.0	0.20		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:タイルカーペット(20年)壁:ビニルクロス(20年)天井:ボード(30年)	5.0	0.10		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外露出ダクト、高湿系排気ダクトにステンレスダクトを採用	4.0	0.10		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水(SUS):C、給湯(SUS):C、排水(VP):B	4.0	0.20		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		
2.4 信頼性		2.8	0.20		
1 空調・換気設備		3.0	0.20		
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		
3 電気設備		3.0	0.20		
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		
5 通信・情報設備		2.0	0.20		

3	対応性・更新性		3.6	0.30		-	3.6
	3.1 空間のゆとり		5.0	0.30		-	
	1 階高のゆとり	3.9m以上	5.0	0.60		-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.1未満	5.0	0.40		-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30		-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40		-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.39		-	2.4
1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30		-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40		-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30		-	2.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR	建築物の環境負荷低減性						3.4
LR1	エネルギー		-	0.40		-	3.8
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.61	5.0	0.20		-	5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10		-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI _m =0.72	3.8	0.50		-	3.8
4	効率的運用		3.0	0.20		-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00		-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50		-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価		-	-		-	
	4.1 モニタリング		-	-		-	
	4.2 運用管理体制		-	-		-	
LR2	資源・マテリアル			0.30		-	3.1
1	水資源保護		3.4	0.20		-	3.4
	1.1 節水	自動水栓、節水型便器を採用	4.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.8	0.60		-	2.8
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材が容易に分別可能	5.0	0.20		-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.7	0.20		-	3.7
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70		-	
	1 消火剤		-	-		-	
	2 発泡剤(断熱材等)	発泡剤不使用	5.0	0.50		-	
	3 冷媒		3.0	0.50		-	
LR3	敷地外環境			0.30		-	3.3
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率85%	3.5	0.33		-	3.5
2	地域環境への配慮		3.3	0.33		-	3.3
	2.1 大気汚染防止	燃焼機器不使用	5.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25		-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
	3 交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-	
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33		-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
	1 騒音		3.0	1.00		-	
	2 振動		-	-		-	
	3 悪臭		-	-		-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70		-	
	2 砂塵の抑制		-	-		-	
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20		-	
	1 屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの過半を満たす	5.0	0.70		-	
	2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	9.0		○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1.3.2 維持管理用機能の確保	8.0		-	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	4.0		-	-	2.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	3.0		-	2.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雨水利用システム導入の有無	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	3.0		○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	10.0		1.0	-	3.0	3.0	1.0	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0		-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明の56%に調光機能の付与	4.0		2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射取得率(η)	-
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	ηAC
ηAH	-	-	-
窓光率	2.2%	-	-
自然換気有効開口面積率	0.0%	-	-

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・取納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

3 設備システムの高効率化

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

執務スペース	.0㎡/人	病床	.0㎡/床	シングル	.0㎡	ツイン	.0㎡
コンセント容量	0.0 VA/㎡	-	-	-	-	-	-
天井高	3 m	-	-	-	-	-	-
リフレッシュスペース	250.0%	レストスペース	0.0%	-	-	-	-
想定耐用年数	0 年	-	-	-	-	-	-
想定必要間隔	40 年	-	-	-	-	-	-
想定必要間隔	20 年	-	-	-	-	-	-
想定必要間隔	0 年	-	-	-	-	-	-
階高	5.7 m	-	-	-	-	-	-
壁長さ比率	6.0%	-	-	-	-	-	-
床荷重	- N/㎡	-	-	-	-	-	-
外構緑化指数	22%	建物緑化指数	0%	-	-	-	-
空地率	20%	水平投影面積率	0%	地表面対策面積率	15%	舗装面積率	52%
BPI/BPI _{in}	0.61	断熱等性能等級	対象外 相当	-	-	-	-
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/㎡	採光を満たす住戸数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%
-	-	通風を満たす住戸数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%
BPI/BPI _{in}	非住宅 0.72	住宅	-	太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW
-	-	蓄電池	.0kW	-	-	-	-
雨水利用率	0.0%	-	-	-	-	-	-
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-	-	-
使用比率	0.0%	-	-	-	-	-	-
オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-	-	-	-	-
オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-	-	-	-	-
オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-	-	-	-	-
見付面積比	35%	隣接間隔指標Rw	7.61	-	-	-	-
地表面対策面積率	16.0%	屋根面対策面積率	#DIV/0!	外壁面対策面積率	#DIV/0!	-	-
見付面積S _b	800㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W ₄	118.84 m	基準高さH _b	19.58 m	-	-
緑地	4,000㎡	水面	㎡	採水性対策面	㎡	高層射対策面	200㎡
-	-	再帰性反射対策面	㎡	-	-	-	-